

長崎小6年生 高齢者宅で雪かきボランティア

2月21日、長崎小学校6年1組の児童が、力仕事に困難な一人暮らしの高齢者宅を訪問し、雪かきボランティアを行いました。このボランティアは「困っている人の力になりたい」と児童自ら企画したものです。

この日は6つの班に分かれて、8軒の高齢者宅を訪問。小雪が舞う中、ほっぺたを真っ赤にして積もりに積もって固くなった雪をスコップやスノーダンプで削りました。伊藤和希くんは「雪が重くて疲れるけれど、(雪かきをした)家の人が喜んでくれたら自分も嬉しい」と話していました。

6年1組担任の後藤先生は「子どもたちには、この活動を通して人と関わる力や失敗を次に生かす力を身につけて欲しいと思っています」と話し、子どもたちが困っていてもあえて手を貸したりお膳立てしたりせずに見守ってきたそうです。企画から段取り



まで、できる限り自分たちの力でやり遂げた児童たち。今回の活動の成功は、大きな自信につながったのではないのでしょうか。

戸籍の窓口 2月届出分

まちの人口 (2月末現在)

人口 12,150人 (前月比-13人)
(男5,910人、女6,240人)

世帯数 3,559世帯 (前月比+1世帯)

人の動き (2月届出分) 出生5人 転入8人
死亡14人 転出12人

男の料理教室

2月15日、町社会福祉協議会主催の「男の料理教室」が保健福祉センターで開催され、14名の男性が参加しました。

今回は菜の花の和え物、ごぼうサラダなど「野菜をたくさん食べることを意識した献立を実際に作ってみることに。日ごろ台所に立つ機会の少ないお父さんたちは、講師の食生活改善推進員の手ほどきを受け、包丁などの調理器具を使って奮闘していました。何度かひやっとする場面もありましたが、グループで協力して美味しい料理を完成させました。



TOPICS ひまわり広場



まちのホットなニュースをお届けします!

皆さんの身近な情報や写真をお寄せください
総務企画課情報防災グループまで
電話662-4899

新春 ゆ・ら・ら寄席

2月27日、ひまわり温泉ゆ・ら・らで、七代目古今亭志ん馬師匠を迎えて「新春ゆ・ら・ら寄席」が開催されました。

会場には昼の部、夜の部ともに100名近くの観客が訪れ、その後行われた師匠を交えての懇親会には50名が参加しました。「時そば」や「三方一両損」などの落語が披露され、手ぬぐいや扇子を使った身振り手振りの語りで、会場は大いに盛り上がっていました。



ひまわり娘 県庁ロビーデビュー



県庁ロビーの「つや姫」特設展示スペースに、町の地酒『ひまわり娘』純米酒が展示されています。

この展示スペースは県産米の「つや姫」をより広く県内外へアピールするため、各販売業者の協力を得て、「つや姫」を使用した様々な製品が展示されています。

県庁にお寄りの際はぜひご覧ください。

おだんごの花が咲きました 旧正月恒例だんご木市

2月5日、役場前の上町通りで、町観光協会が主催する旧正月恒例のだんご木市が開催されました。

だんご木は、木の枝を縁起物のえびす、大黒、千両、鯛、せんべいで飾りつけ、家内安全、学業成就、病気よけ、厄払い、豊作等を祈願するものです。木の枝は、ピンク、白、黄色などカラフルのだんごと飾りで装飾され、まるでお花が咲いたように華やかに。

主役のだんご木をはじめ、農産物、木工品、植木、焼きそば、綿菓子などを売る店が立ち並び、買い物客でにぎわいました。豚汁の振る舞いもあり、訪れた人たちは買い物の合間に冷えた体を温めていました。

